

第19回 令和2年度 遺跡調査報告会

2020年11月14日(土) 午後2:00～3:30

展示・報告遺跡

- ◆ ^{いちおうじ}一王寺遺跡 (是川地区／縄文) 宇庭 瑞穂
- ◆ ^{いしばし}石橋遺跡 (大館地区／平安) 山田 貴博
- ◆ 八戸北インター第2工業団地予定地
(上長地区・下長地区／縄文・古代) 上ノ山 拓己



遺跡の全景(一王寺遺跡)



作業風景(石橋遺跡)



八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市是川字横山1
TEL 0178-38-9511 FAX 0178-96-5392
<https://www.korekawa-jomon.jp/>

- ◆会場：是川縄文館 1階 体験交流室
- ◆主催：八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和2年度発掘調査遺跡一覧

No	遺跡名	時代／種類	所在地	調査原因	調査面積	調査期間
1	酒美平遺跡	縄文・飛鳥・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	4.0	令和2年4月6日
2	大崎遺跡	縄文／散布地	尻内	太陽光発電施設設置	24.0	令和2年4月6日～9日
3	田面木遺跡	縄文・弥生・奈良・平安／集落跡	田面木	建売住宅建築	8.0	令和2年4月8日・9日
4	笹ノ沢(2)遺跡	縄文／集落跡	尻内	工業団地建設	2,160.5	令和2年4月13日～7月9日
5	八戸北インター第2工業団地建設予定地	縄文／集落跡	尻内 河原木	工業団地建設	5,672.0	令和2年4月13日～11月30日(予定)
6	酒美平遺跡	縄文・飛鳥・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	15.0	令和2年4月21日
7	石ノ鉢遺跡	縄文・弥生・奈良／散布地	松館	太陽光発電施設設置	14.0	令和2年4月23日・24日
8	田面木遺跡	縄文・弥生・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	24.5	令和2年5月11日～15日
9	中道遺跡	縄文／散布地	鮫	個人住宅建替	40.5	令和2年6月1日
10	松ヶ崎遺跡	縄文・奈良・平安／集落跡・貝塚	十日市	太陽光発電施設設置	46.5	令和2年6月18日～22日
11	狐森遺跡	縄文／散布地	糠塚	太陽光発電施設設置	49.0	令和2年6月29日～7月1日
12	市子林遺跡	縄文・古代・奈良・平安・中世・近代／集落跡	新井田	個人住宅建築	27.0	令和2年7月3日～6日
13	山内遺跡	縄文・平安／散布地	糠塚	個人住宅建築	12.0	令和2年7月27日～28日
14	館平遺跡	縄文・平安・中世／集落跡・城館跡	新井田	個人住宅建築	0.36	令和2年8月7日
15	八戸城跡(第49地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	個人住宅建築	26.0	令和2年8月7日・24日～27日
16	田面木遺跡	縄文・弥生・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	10.5	令和2年8月11日
17	八戸城跡(第48地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	祭器庫移転	22.5	令和2年8月19日～21日
18	雷遺跡(第11地点)	縄文・平安／散布地	中居林	個人住宅建築	25.0	令和2年9月7日～9日
19	八戸城跡(第50地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	個人住宅建築	57.5	令和2年9月8日～10日
20	市子林遺跡	縄文・古代・奈良・平安・中世・近代／集落跡	新井田	個人住宅建築	9.5	令和2年9月16日
21	市子林遺跡	縄文・古代・奈良・平安・中世・近代／集落跡	妙	個人住宅建築	6.0	令和2年9月16日
22	法霊林遺跡	縄文・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	11.5	令和2年9月28日・29日
23	石橋遺跡	平安／集落跡	新井田	個人住宅建築	7.0	令和2年10月5日
24	烏館場遺跡	縄文／散布地	櫛引	個人住宅建築	15.25	令和2年10月21日
25	一王寺遺跡	縄文・弥生・奈良・平安・近世／散布地・集落跡	是川	史跡内容確認	328.0	令和2年8月3日～10月9日
26	八戸城跡(第44地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	個人住宅建築	40.0	令和2年4月6日～17日
27	八戸城跡(第45地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	堀端町	道路改築	120.0	令和2年5月7日～6月19日
28	石橋遺跡(第12地点)	平安／集落跡	新井田	長芋作付け	2,000.0	令和2年5月11日～8月21日
29	田面木遺跡(第57地点)	縄文・弥生・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	64.3	令和2年6月1日～23日
30	田面木遺跡(第54地点)	縄文・弥生・奈良・平安／集落跡	田面木	個人住宅建築	64.0	令和2年7月17日～8月21日
31	笹ノ沢(2)遺跡(第1地点)	縄文／集落跡	尻内	工業団地建設	3,600.0	令和2年9月7日～11月30日(予定)
32	雷遺跡(第11地点)	縄文・平安／散布地	中居林	個人住宅建築	20.0	令和2年10月5日～9日
33	八戸城跡(第46地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	道路改築	180.0	令和2年8月17日～10月16日
34	八戸城跡(第47地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	道路改築	1,660.0	令和2年9月19日～12月15日
35	松ヶ崎遺跡(第11地点)	縄文・奈良・平安／集落跡・貝塚	十日市	長芋作付け	1,250.0	令和2年10月5日～11月13日(予定)
36	八戸城跡(第50地点)	縄文・弥生・古墳・近世・近代／城館跡	内丸	個人住宅建築	150.0	令和2年10月7日～12月11日(予定)

 報告遺跡

※ 10月末日現在



令和2年度発掘調査遺跡位置図

いちおうじ 一王寺遺跡

1. 遺跡の概要

本遺跡は、中居遺跡・堀田遺跡を含む「是川石器時代遺跡」の一つです。面積は約 326,000 m²と、3 遺跡の中で最も広い遺跡です。新井田川に面する標高 20 ～ 40 m の台地と、標高 100m 前後の丘陵に立地しています。

縄文時代前～中期(約 5,900 年～ 4,300 年前)の円筒土器文化期を中心とした大きな集落(ムラ)が遺跡の立地する台地の南側に広がっており、台地上のゆるやかな斜面には竪穴建物跡などが、南側の沢に至る傾斜面には大規模な捨て場が、西側の丘陵部分には集石遺構や土坑墓などが確認されています。

八戸市教育委員会では、平成 6 ～ 29 年まで断続的に一王寺遺跡の調査を行ってきましたが、調査面積は遺跡全体の約 2%と、遺跡の全容はほとんど分かっていません。そのため、昨年度から令和 6 (2024) 年度までの 6 カ年で、史跡指定地を中心に内容確認のための発掘調査を行うこととしました。今年度は、前期の貝塚がある昨年度調査区の西側に位置する台地を調査しました。調査期間は令和 2 年 8 月 3 日～ 10 月 8 日、調査面積は約 328 m²です。

2. 検出遺構

今回の調査では、縄文時代の竪穴建物跡 22 棟、フラスコ状土坑 1 基、土坑 14 基、配石遺構 2 基、溝跡 3 条、盛土遺構、捨て場を確認しました。

① 縄文時代前期から後期の遺構を確認

調査区の北側では縄文時代前期から中期の遺構が、北側から西側の範囲では縄文時代後期(約 4,000 ～ 3,500 年前)の遺構が確認されました。特に、北東側では、前期から後期の竪穴建物跡が狭い範囲で複雑に重複している様子(207 トレンチ・218 トレンチ)が確認されました。

また、南側では配石遺構(縄文時代後期)が、中央部では土坑やピット(縄文時代中期から後期か)が多数検出されています。昨年度と同様、竪穴建物廃絶後の凹地に土器の捨て場が形成されている様子(214 トレンチ・223 トレンチ・226 トレンチ)なども確認されています。

② 縄文時代の溝跡・盛土遺構を確認

調査区北西側では、縄文時代後期以降の盛土遺構がみつかりました。竪穴建物廃絶後の凹地を埋めて、厚く土を盛っている様子が確認され、盛土遺構は今年度調査区よりさらに北へ広がると考えられます。

調査区の南側では、一王寺遺跡では初めて、縄文時代の溝跡がみつかりました。溝跡からは縄文土器片や石器等が出土しています。

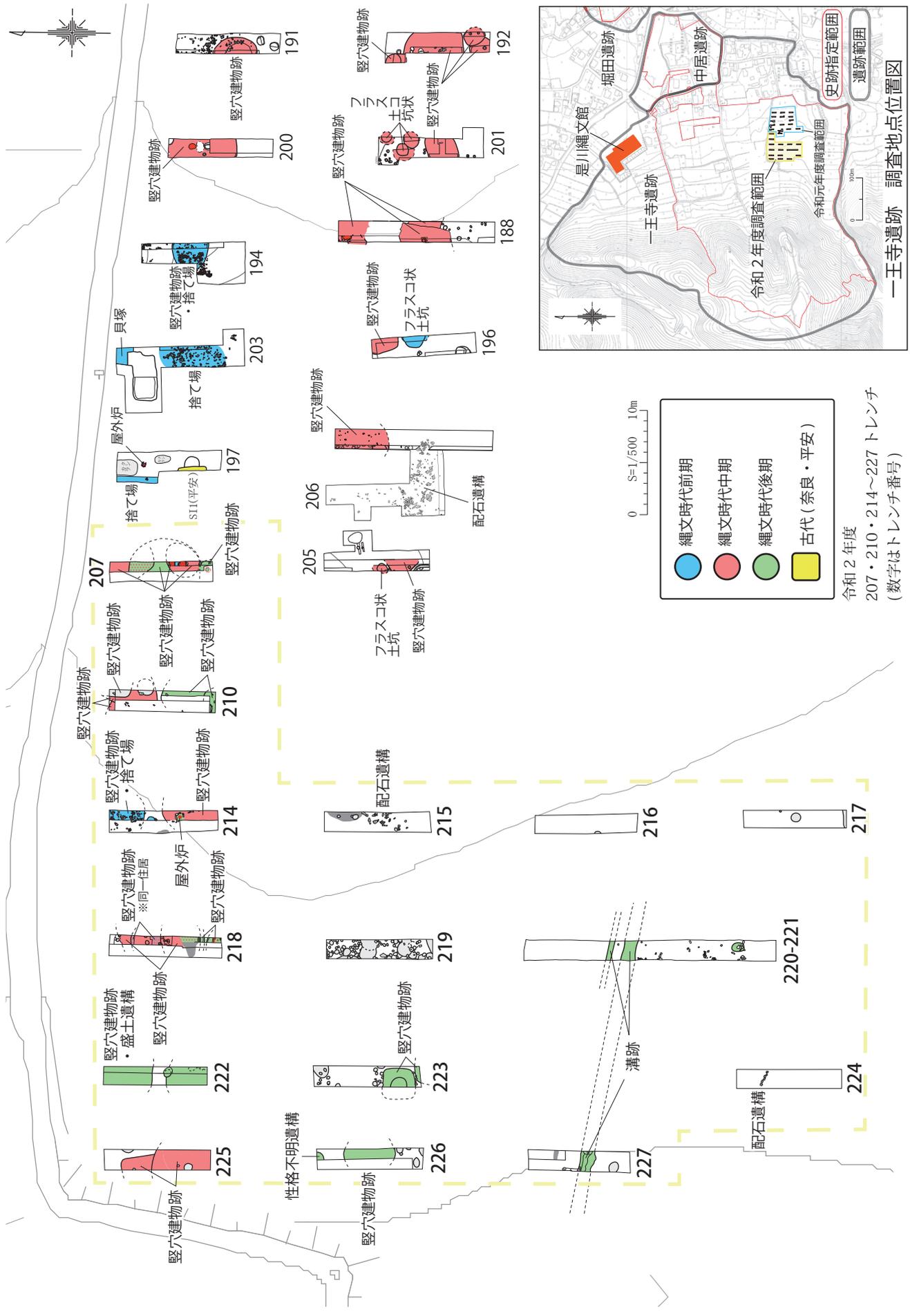
3. 出土遺物

今回の調査では、縄文土器(前期・中期・後期)を中心に、土製品(土偶・土製耳飾り・ミニチュア土器・円盤状土製品)、石器(石鏃・石匙・石錘・打製石斧・磨製石斧)、石製品(石棒・棒状石製品・石皿・磨石・敲石・台石)などが出土しました。また、動物遺存体(シカや貝など)、弥生土器や土師器も僅かですが確認されています。

4. まとめ

昨年度と今年度の調査から、縄文時代前期の竪穴建物跡などは貝塚周辺の範囲にみつかりました。中期の集落は、さらに西側へと広がる可能性があります。また、今年度の調査では後期の竪穴建物跡や溝跡などがみつかり、前期から後期までの長い間、人びとが生活していた様子がわかってきました。

(宇庭 瑞穂)



一王寺遺跡 遺構配置図

1. 遺跡の概要

本遺跡は八戸市中心部から南東に約 4km、新井田川右岸の標高 47 ～ 72m の丘の上に立地しています。道路を挟んだ南側の緩斜面には、石橋遺跡と同時代の坂中遺跡、市子林遺跡が広がっています。これまでの調査では、縄文時代の土坑 5 基、溝状土坑 3 基、焼土遺構 2 基、平安時代の竪穴建物跡 16 棟、近世～近代の土坑墓 16 基などがみつかっています。

今回調査を行った第 12 地点は、標高約 67 ～ 70m の遺跡の南側、北から南へ下降するなだらかな斜面に位置しています。調査面積は約 1,100 m²です。

2. 検出遺構

今回の調査では、縄文時代の土坑 1 基、平安時代の竪穴建物跡 11 棟、掘立柱建物跡 1 棟、土坑 4 基、焼土遺構 4 基、近世以降の土坑 29 基、土坑墓 1 基がみつかりました。

平安時代の竪穴建物跡は 1 辺 3 ～ 5 m 程度の大きさで、建物どうしが 3 m 程度はなれてみつかりました。みつかった竪穴建物跡のなかには、鍛冶炉をもつものがあります。鍛冶炉跡とその周辺のピットの埋め土から、たくさんの薄い板状の鉄片が出土しました。これらは鍛造剥片^{たんぞうはくへん}と呼ばれ、鉄を叩くことで飛び散ったもので、鍛冶を行っていた痕跡の一つです。この竪穴建物跡では、建物南側の柱を壁際に寄せて立てることで、鍛冶炉周辺の空間を広くしていたことが想定されます。別の竪穴建物跡では 3 回にわたり鍛冶炉が作り替えられており、床面に石が据付けられている状態でみつかりました。この石は、鉄を叩く際の台として使われた金床石と考えられます。

また、焼失した建物跡が保存の良い状態でみつかりました。建物の屋根材がそのまま焼け落ちて炭になった状態で出土しました。

掘立柱建物跡は、柱の直径が約 5 寸 (15cm)、建物の大きさが約 7.5 尺 (2.2m) × 約 15 尺 (4.4m) あります。柱穴から土師器が出土したため、多くみつかった竪穴建物跡と同様に平安時代の集落の一部と考えられます。

3. 出土遺物

今回の調査では、平安時代の土師器、須恵器、石器、石製品、鉄製品、動物遺存体に加え、近世以降のものは、陶磁器、銭貨、人骨がみつかりました。

4. まとめ

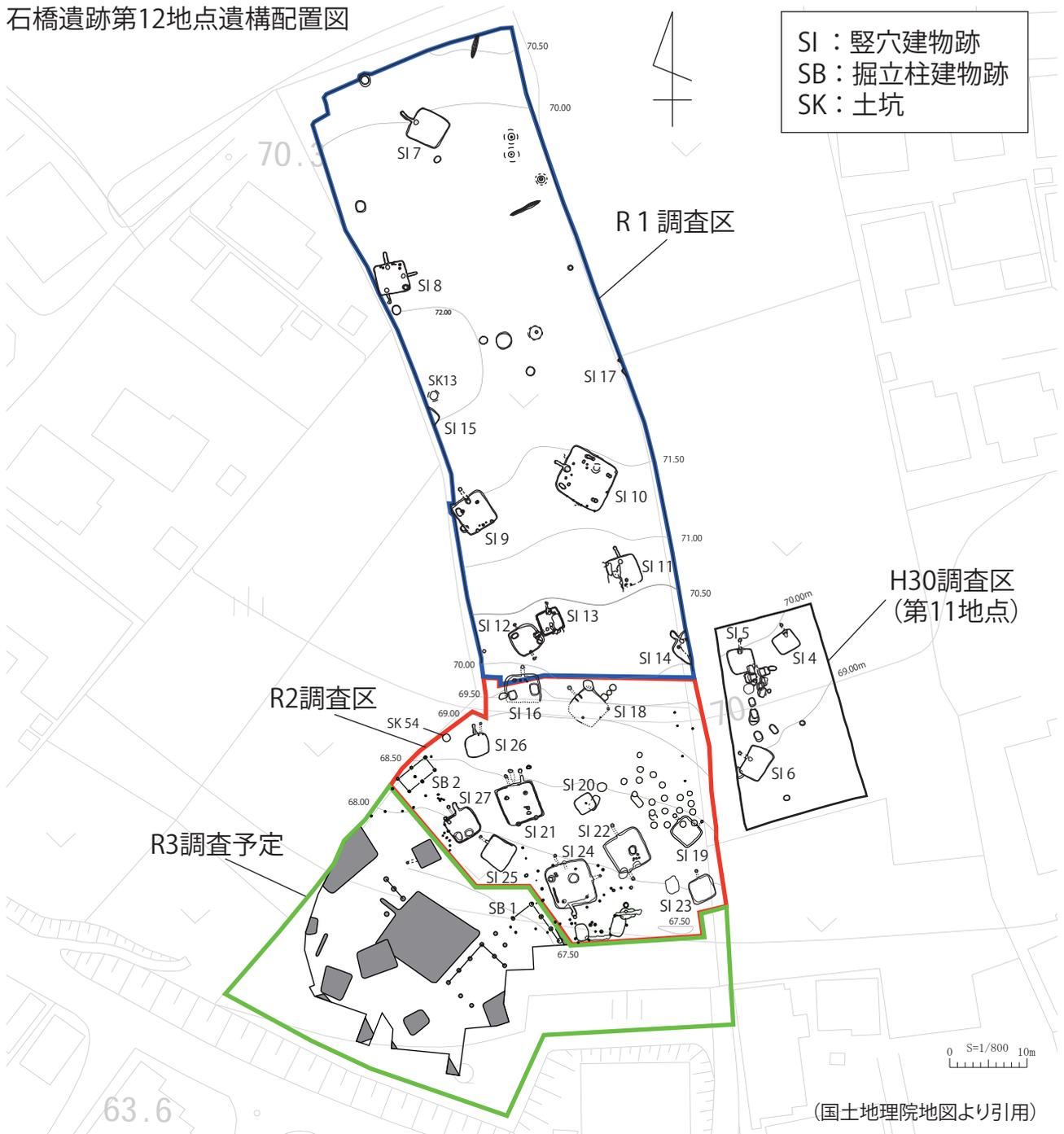
今年度の調査区は、これまでの調査でみつかった竪穴建物跡数の密度と比較して、密度が高いことから、人びとの生活の拠点に近い場所と考えられます。

また、鍛冶炉跡の発見により、集落内で鉄製品の生産や加工が行われていたことがわかりました。

来年度の調査地点は、今回の調査地点よりも遺構の密度が高いことがわかっており、今回調査したものよりも大型の竪穴建物跡や掘立柱建物跡が確認されています。

今後、遺跡の南側に隣接する坂中遺跡や、さらに南側にある市子林遺跡を含めた、この一帯の平安集落のあり方について考える必要があります。 (山田 貴博)

石橋遺跡第12地点遺構配置図



竪穴建物跡 (SI21) 完掘状況



焼失した竪穴建物跡 (SI26)

八戸北インター第2工業団地予定地

1. 遺跡の概要

八戸北インター第2工業団地は、八戸市中心部から北西に約5.5kmの、八戸市大字尻内町・大字河原木地内に建設することが予定されています。開発範囲は、南を馬淵川、北を五戸川にはさまれた標高約80mの丘陵上に立地しており、周辺には馬淵川に合流する沢が数本流れています。

開発範囲内は、笹ノ沢（1）遺跡・笹ノ沢（2）遺跡・笹ノ沢（4）遺跡・杉子沢（1）遺跡の、4か所の遺跡が所在することで知られています。しかし、これまで笹ノ沢（2）遺跡の一部の発掘調査を実施したのみで、遺跡の全容は明らかになっていませんでした。また、これらの遺跡の範囲外にも遺構が分布している可能性も考慮して、八戸市教育委員会は平成30(2018)年から、工事に先立って試掘調査を実施しています。488,700 m²に及ぶ開発範囲のうち、人びとが建物などを作ったとは考えづらい急斜面や湿地を除いた約230,000 m²を対象としています。

試掘調査は、調査対象地の一部に試掘坑を掘り、遺構の有無を確認する方法で行いました。

2. 検出遺構

今回の調査では、縄文時代とみられる土坑や溝状土坑と、古代の竪穴建物跡などがみつかっています。

開発範囲北側では、溝状土坑がみつかりました。溝状土坑は動物を捕まえる落とし穴と考えられます。

南西部では、古代の竪穴建物跡や時期不明の柱穴が複数みつかりました。

南東部では、時期不明の溝状土坑がみつかっています。

3. 出土遺物

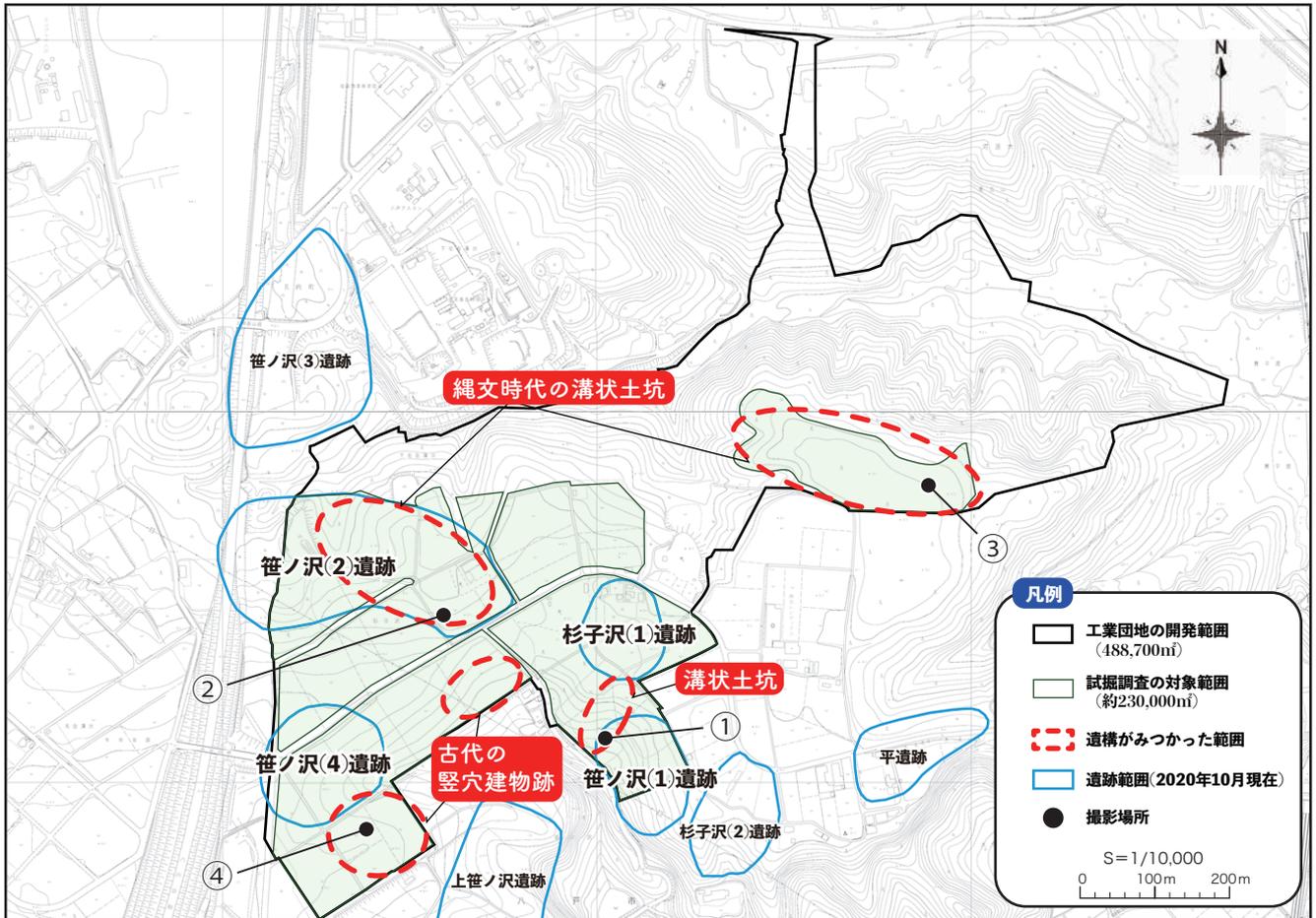
今回の調査では、縄文土器・土師器・石器などが出土しました。縄文土器は、縄文時代早期・前期・後期・晩期のものがあり、開発範囲東部では縄文時代早期後葉から前期前葉にかけての土器がまとまってみつかりました。

土師器は、古代の竪穴建物跡がみつかった開発範囲南西部で出土しています。

4. まとめ

今回の試掘調査によって、これまで確認されていなかった古代の竪穴建物跡や、未確認の遺跡を発見することができました。

試掘調査は遺構の有無などを確認することが主な目的です。試掘調査で遺構がみつかった場所は、今年度から本発掘調査を順次行っており、その結果、遺跡の内容が明らかになりつつあります。今後も、試掘から本発掘へと調査を進めていきます。 (上ノ山 拓己)



工業団地予定地全体図



① 溝状土坑



② 耕作によって一部破壊された溝状土坑



③ 石のまとまり



④ 古代の竪穴建物跡

第 19 回 八戸市遺跡調査報告会次第

- 9：00 出土品展示室開場
13：30 報告会受付開始
14：00 開会挨拶
14：05 令和 2 年度調査概要
14：15 調査成果報告 一王寺遺跡
14：30 調査成果報告 石橋遺跡
14：45 休憩
15：00 調査成果報告 八戸北インター
第 2 工業団地予定地
15：15 質疑応答
15：30 閉会挨拶
閉場（出土品展示室は 11 月 15 日（日）まで）

